

「悲しむべき自殺」

わが国では、交通事故で親を失った遺児より、自殺によって親を失った遺児の数の方が現在では多くなってきています。自殺を防ぐことができなかった家族や友人、同僚に残した心の傷はかなり大きなものがあります。親を自殺で亡くしたことによるむなしさや無力感、自分たちを見捨てて死んでしまった親に対するやり場のない怒りや無念の感情は、癒されることはありません。

残された家族や友人の心の傷を考えると、自殺は間違った選択であり、自殺によってすべてから開放されたわけではなく、自殺は新たな問題を残すことに他ならないからです。

自殺は健全な心の状態で引き起こされるものではありません。また動機すらはっきりと分からないのが現状です。すなわち、自殺は決して一つの動機から行われる単純なものではなく、複雑な要因が絡みあって起こる現象だと思います。

いくら原因がはっきりしていても、自殺をするか、やめるかは、その人個人を取り巻く、さまざまな社会的・対人的資源の大きさによって、いくらでも変わりうるものと思います。

すなわち、自殺はある程度は防ぐことができ、より、じょうずな対応によって自殺をやめることができものであることを、しっかりと認識しておくことが必要であると思います。

自殺を考え、自殺の念にとりつかれているときは、決して健全な明るい心の状態ではありません。だから、自殺を考えている人たちに対して再び、健全な心を取り戻してもらうべき援助が必要と強く感じる今日このごろです。

おわりにこの数字をみてあなたはどう思いますか？

2008年交通事故死亡者数:5,155名(8年連続減少)

2008年自殺者数:32,249名(11年連続3万人超) (警視庁のまとめ)

総務副委員長 松本 哲保

■講演会開催のお知らせ■

当会では中部日本プラスチック製品工業協会との交流会にて、下記の講演会を開催しますので、お気軽に参加ください。

記

期日 8月27日(木) 16時～1時間
 演題 「電気自動車開発の現状と社会の変化」
 講師 経済産業省製造産業局自動車課
 課長補佐 笠間 太介氏
 申し込みは当会事務局へ電話下さい。
 TEL 076-442-0309

《編集委員会》

総務委員長 高野 修次 (株)リッチェル
 副委員長 松本 哲保 (株)碓井製作所
 ◆ 喜多 進 (株)大樹
 ◆ 西村 源信 (三光合成株)
 ◆ 門前 昌志 (阪神化成工業株)

とやま県プラ

富山県プラスチック工業会

(富山技術交流センター内)
 〒930-0866 富山市高田529番地
 TEL (076)442-0309 FAX (076)442-0310
 URL http://www.kenpla.jp E-mail info@kenpla.jp

編集後記

御用聞き

- ・ 西の大田区と言われる東大阪市(人口50万人余り)の中小企業は産学連携で宇宙ロケットを打ち上げてしまうほど創造的で元気な地域であったが、最近は生き残りをかけて、市と商工会議所が連携し、全国の主要なものづくり地域を、まさに御用聞きよろしく、飛び回っている。先般、富山にも来県し、富山での商談会開催に向けて、県、団体、商工会議所を順次、訪問して要請とヒアリングに努めていた。
- ・ 会報トップインタビューでお邪魔したトヨックスさんのショールームで見かけたのは、他社のホースと自社のホース類を取り付けた性能比較サンプル盤で、ユーザーの現場での情報交換用ツールとして、活用している。
- ・ 韓国ではスーパーの周辺消費者が宅配を頼むと惣菜や日用品を届けてくれるそうです。高齢者など買い物弱者にとって、ありがたいことで昔の御用聞きを連想する。
 江戸時代、御用聞きは十手持ちの代名詞だった。時代の変遷で、意味あいも変わり、効率優先の現在では使われることもなくなったが、顧客ニーズは現場にあり、これからの価値創造へ考えたい。

事務局 谷村

とやま県プラ



魚津市片貝川上流 沌滝

CONTENTS

- 2 定期総会
- 3 産学官交流
- 4 トップインタビュー
- 6 シリーズ海外経済・断片
- 8 シリーズプラスチック業界：提言
- 9 技術委員会レポート
- 10 総務委員会レポート
- 11 研修講習事業報告
- 12 会員広場
- 13 景況調査
- 14 共創

富山県プラスチック工業会

2009.8 No.25

第48回

通常総会開催



総会・笠井会長挨拶

総会審議

第48回通常総会は5月26日(火)午後3時30分から富山第一ホテルにおいて開催された。はじめに笠井会長より開会の挨拶のあと、議長に笠井会長を選出して議案審議に入った。

議案は第1号議案「平成20年度事業報告の件」

第2号議案「平成20年度収支決算報告・監査報告の件」

第3号議案「平成21年度事業計画(案)の件」

第4号議案「平成21年度収支予算(案)の件」

第5号議案「役員改選(案)の件」

を諮った結果、原案通り可決承認され、総会審議が終了した。

21年度事業計画ではプラスチック加工技術研究の拠点づくりへの産学官連携、次代経営人材と技能人材育成事業の推進、研究開発事例発表会、ものづくりを通じた地域貢献、産学技術研究支援等を計画している。

記念講演

総会終了後、第2部として、金沢工業大学ものづくり研究所の客員教授 松井 醇一氏より「環境時代とプラスチック技術の進化」と題して記念講演があった。講演には、当会役員、会員の他、県内の諸団体の代表も出席して熱心に聴講した。

講演では、プラスチック材料の誕生と今日に至るまでの高度化発展の経緯と、航空機や車両に使用されつつある炭素繊維樹脂の今後の用途開発について、期待を込めて話があった。



松井教授講演

懇親会

引き続き第3部として懇親会が開催され、はじめに笠井会長の開会挨拶のあと、今春、黄綬褒章を授章した、高陵プラスチック工業株式会社 渋谷 巽さんに笠井会長から記念品の贈呈があり、渋谷さんから謝辞の後、柳野富山県商工労働部長が県内プラスチック業界の果たす役割に期待する祝辞、乾杯のあと歓談に移り各円卓を囲み賑々しく相互親睦を深め合うなか富山プラスチック協会 齊藤会長の中締めで盛会裡におひらきした。



懇 親

産学官研究開発事例発表と懇談会開催

県内研究施設、研究者との共同研究活性化に向けて
—富山大学・富山県工業技術センター・当会—

6月26日、富山大学工学部にて富山大学工学部化学応用研究部会9名、県工業技術センター榎本所長他1名、当工業会笠井会長、木田常任理事他8名、計21名が参加して、産学官より研究開発事例発表として北野教授「生物不活性な表面を持つ高分子材料」遠田教授「色変化応用型糖センシングフィルムの開発研究」県工業技術センター榎本所長より「産学官連携・融合のバトンゾーン」について事例発表、引き続き、懇談会が開催され活発な意見交換があった。

■懇談会では出席者の自己紹介のあと、今後の連携について下記について了承された。

- ・化学応用研究部会事業への参加
- ・学生、教官のプラスチック工場見学の実施
- ・次年度以降、懇談会や研究事例発表会の継続開催
- ・県内化学系ものづくり団体への連携化

■笠井会長より、富山大学におけるプラスチック研究拠点への理解促進を要請した。



笠井会長挨拶



研究事例発表



懇親会



高陵プラスチック工業株式会社

〒933-0824 高岡市西藤平蔵字内川原1312
TEL(0766)63-5656(代)
FAX(0766)63-5658

SAITO
Plastics Molding / Package & Parts

株式会社 齊藤製作所

富山県富山市下大久保61 〒939-2251
☎(076)468-2727 FAX(076)468-3911

「独自技術と海外技術の融合 和の経営で新分野を切り拓く」

—工業・園芸用 耐圧ホース国内市場シェア70%—



株式会社 トヨックス
代表取締役会長
中西清一氏

株トヨックス（本社工場 黒部市）は中西会長が昭和38年に東洋化成（現 トヨックス）を創業、伸縮性と剛性を合わせ持つ耐圧ホースを開発し、同社主力製品として世界最高レベルの評価を得ている。近年は、環境にやさしく、健康に良い輻射式冷暖房システムを開発する等、省エネ、健康、医療に貢献する「地球環境創造企業」を目指している。

中西会長自身は平成18年に産業振興と地域貢献功労で、旭日双光章を授与されています。

＝昨秋のリーマンショック以後、製造業は、大きな打撃を受けていますが貴社の影響と対応について

中西 主力の耐圧ホースでは、自動車工場用や工作機械など工業用は4月以降も△30%程度の大きな影響を受けていますが、幸い、園芸用ホースでは市場が動いており、工場稼働を支えている。将来的には電気自動車が生活カーとして、また、エネルギーは化石燃料から原子力、太陽光、他自然エネルギーなど、2酸化炭素ガス削減時代に即した産業構造に変革すると見えています。

＝昭和38年、東洋化成として創業のきっかけとなったことは。

中西 私は魚津高校の電気課を卒業して、家業の電気設備関係の仕事をしており、プラスチック成形は素人でしたが、当社 現社長の兄さんと共に創業し、プロパンガス用塩ビホースの製造を始めたのが創業のきっかけでした。

今でも創業時の押し出し成形機を社内に展示して、新技術に取り組んだ創業の精神を大事にして

います。

＝海外への進出について、現状の問題と今後の取り組みについて。

中西 最初はインドネシアでホースの生産を計画しましたが、政情不安が解消せず、進出を断念しました。現在はタイ、上海、大連などに販売拠点を開設して年間6億～7億円程度の売り上げがありますが、中国ではご存知のように特許などに対する意識が希薄で、当社製品そっくりのホースが出回っています。訴訟しても別の類似製品が出回り、訴訟費用も高額で勝訴しても戻って来ないなどの問題もあります。

しかし、類似品は使用すると柔軟性がなくなるなどの品質低下が顕在化しており、日系企業中心に現地での間口を拡大していきたい。

＝平成9年に輻射式冷暖房システムの事業化という、新分野開拓に取り組まれています、今後の見通しは。

中西 輻射式冷暖房は、ヨーロッパで普及しているもので例えていえば、トンネル内での冷涼感、暖気感が特徴で、疲労感の少ない、ランニングコストが低い、化石燃料削減等の優位性があり、健康に良く、環境にやさしい冷暖房システムとして、認識されつつあり、住宅以外にも病院、大学の図書館、レストランなどで採用されていますが、一方ではイニシャルコストが高いこともあり、普及に課題はあるが、優位性を生かした用途開発と営業展開を図っていきたい。



自社製品ショールーム

＝独自の技術開発と海外の先進技術導入による融合など、高度な技術力を持つ元気な企業として、平成18年、第1回元気なモノ作り中小企業300社に、同じく同年、特許取得など、積極的な知財戦略が評価されて、産業財産権の活用企業100選に選ばれています。

今後の技術開発への方針は。

中西 開発した技術は国内特許や実用新案等で2,703件、海外特許等では273件を出願、登録しています。維持も含めて、多額の費用も掛かりますが開発技術を大事にする当社の姿勢は変わりません。開発のコンセプトは独自技術としての特許化が可能か、市場価格を確保できるか、がポイントです。開発の現場には、ずば抜けた人材はいませんがチーム力を最大限、発揮できるよう気配りしています。

最近では、独自の毛細管パイプの開発による食品分野への進出を図りつつあります。また、耐圧ホースの継ぎ手についてもプラスチック製やステンレス製等の開発により、熟練を要しないメンテ効率に寄与しています。

今後、太陽光発電など、冷却が課題になっている環境分野でも当社の技術を生かしていきたい。

＝貴社の名刺には、「不在時には〇〇まで電話して下さい」、「緊急時には自宅電話又はメールアドレス」を記載し、裏面にはメモ欄がある等、顧客を大事にする社風が感じられます。また、各職場の電話応対でも誠実に対応されています。このような社風や人材育成面での取り組みは。

中西 名刺への記載は20年ほど前からで、現在でもあたりまえのようにやっています。

笑顔での応対や言葉遣いなど、マナー研修には力を入れています。先輩社員が後輩社員を育てる気風があります。

朝礼では褒められたことを、積極的に紹介するなどしている。

各種の社員表彰を実施しており、例えば安全意識を高めるため、新入社員の無事故無違反者やゴールド免許者を表彰、年間業績、改善提案、技術開発などの功績については拠点やグループを全員表彰するようにしています。

＝中西会長はトヨックス会長、中西電気社長や多くの関連企業経営のかたわら、黒部商工会議所会頭



本社工場敷地内のブルーベリー畑にて

を務め、現在も黒部市のバレーボール実業団女子チーム「アクアフェアリーズ」の後援会長、魚津の雇用能力開発大学校振興会長を務められるなど、地域貢献に力を注いでおられますが。

中西 地域が元気にならなければ、という思いでお手伝いをしてきました。

これからも、お役に立っていきたく思います。具体的には、元気な小学生、中学生への育成支援、少子化、晩婚による独身男女の為の出会いの場づくり、太陽の下で自然に親しむ事業推進などです。

これからは、エコ活動が大切であり、最近、会社敷地内にブルーベリー畑を造成しており、実のなる木づくりを通じて自然に恵まれた環境を実感する場として、クルミや銀杏などの樹木を会社の遊休地に植えて、社員や地域の人に親しんでもらう考えです。そのために、農業法人の設立も検討しています。

＝最後に、座右の銘とご趣味などお聞かせください。

中西 働くことが趣味のようにやってきましたので、特別なことはありませんが、電気協会の渋沢さんを尊敬しており、座右の銘として、会社でも家庭でも「和」をなによりも大事にしました。

会社概要

株式会社 トヨックス

- ・本社 富山県黒部市
- ・創業 昭和38年11月
- ・代表者 代表取締役 宮村 正司
- ・資本金 9,880万円
- ・売り上げ 53億円（08年12月期は9ヶ月決算）
- ・従業員数 302名
- ・事業内容 耐圧ビニールホースの生産・企画・販売
輻射式健康冷暖房の開発・販売
OA機器、ソフトウェアの企画・販売

これからの中国、アジア市場は強みを生かす 「人」「技術」育成・拡大の場として

伊藤忠商事株 海外市場部中国室
室長代行 平石 幸雄氏

景気刺激策が奏功しつつある中国市場へ
—日本の強みを更に磨く時代へ—

5月27日(財)富山県新世紀産業機構にて「中国経済の現状と見通しについて」という題で講演させていただきました。世界的な経済危機下、中国もその影響を受け、輸出入などのトレードが大幅に落ち込んでおります。一方、すでに4兆元のインフラ投資、家電下乡、増値税改革などの景気刺激策が発表され、第1四半期の経済指標数値や、自動車の生産販売台数などを見ましても、そういった経済政策が奏功してきており、中国経済が世界経済の回復をリードすることは確実のようです。2010年には上海万博も開催さ

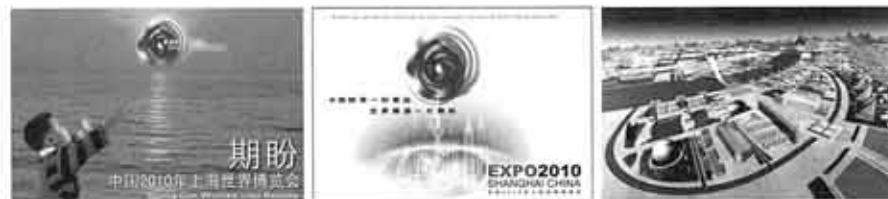
れ、内需主導による経済成長が期待されます。

一方、日本の経済はどうかと言いますと、過去に例のない15.4兆円にも上る補正予算や、定額給付金など需要の喚起に必死となっております。しかし、大方のインフラを整えている日本にとり、経済回復の手段は中国のそれとは自ずと違ってあります。いくつか主要な課題が有る中で、まずは日本の成長の強みであった中小企業の活性化を一番にしていかなければいけないと思っております。

もともと天然資源のない日本は、「人」と「技術」で世界と勝負をしてきました。資源のない日本が絶え間なく繰り返し続けてきた技術革新はそう簡単に

今後の注目点 上海万博

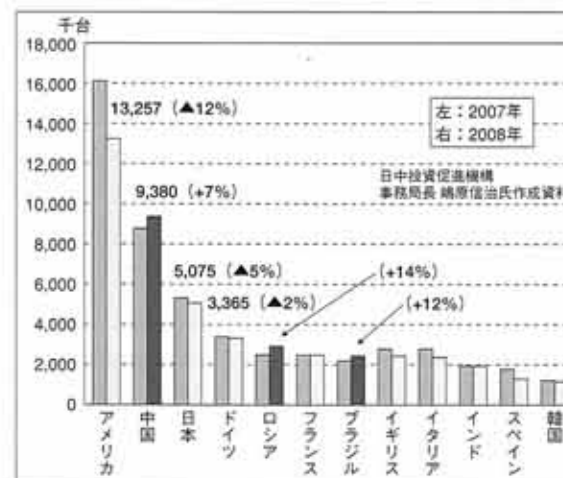
- 1 開催予定時期 2010年5月～11月、約180日間
- 2 直接予定投資額 30億米ドル
- 3 予想入場者数 4,300万人から7,000万人



「タイムマシン」 大阪では、1970年3月～9月、入場者数6,421万人
自家用車、自動販売機 急速に拡大

今後の注目点 自動車

世界の主な自動車市場 (2007-8年販売台数実績)



2009上海モーターショー



三光合成株式会社
SANKO GOSEI LTD.

〒939-1698 富山県南砺市土生新1200
1200 HABUSHIN NANTO-CITY TOYAMA 939-1698 JAPAN
TEL 0763-52-1000 FAX 0763-52-1925
http://www.sankogosei.co.jp/

CO₂排出量ゼロ!
ソーラーサインシステム
イーシス **ESIS**

消費電力約83%削減・長寿命!
LED内照式サインシステム
フェイス **V.S.I.S**

株式会社 城東

代表取締役 奥野 忠正

本社 / 〒934-0042 富山県射水市伊達591 TEL.0766-84-2030
東京営業所 / 〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間町2丁目1番 TEL.03-3863-8530

TAKAGI SEIKO

革新を続けるプラスチック創造企業

株式会社 タカギセイコー

代表取締役社長 笠井 千秋

本社/富山県高岡市二塚322-3 ☎(0766)24-5522代



TOYOKAKO

優れた技術と確かな品質でお応えします。

東洋化工株式会社

取締役社長 中田 守人

〒936-0857 滑川市下梅沢1350番地
TEL.(076)475-2125 FAX.(076)475-9471

は枯渇しません。それでも日本だけの市場を見ている多くの企業にとっては、グローバル化は大きな脅威と映っているかと思えます。

中国、アジアとの新たな互恵へ
—経験を生かした市場・産業構築へ—

最近、中国の各地方政府の日本企業へのアプローチに変化が生じてきました。間雲な企業誘致はなくなってきておりますし、WIN-WINという言葉もよく聞かれるようになりました。これを、単なる誘致のためのスローガンとっては駄目です。日本経済の根本的な問題である、人口減少による需要減を、中国をはじめとするアジアの市場が補ってくれると捉えたらどうでしょう。或いは、日本の中小企業が得意とする「人」と「技術」の育成・拡大の場として中国を検討する時代に入っているのだと思っております。

現在の中国は、日本がいつか歩んできた道にあると思えます。所得倍増計画、日本列島改造論、東京

オリンピック、大阪万博、公害問題など我々が、タイムマシンに乗ったように自分たちの経験を生かすチャンスが中国市場にはあると思えます。

また一衣帯水の関係にある中国の環境問題は、好むと好まざるとに関わらず、日本の環境問題に直結します。立山連峰に積もる雪の中にも、中国の大気中の粉塵が含まれています。中国の環境問題は、我々の子孫の健康にも大きな影響を与えます。積極的に環境の改善を働きかけ、協力していくことが必要と思えます。

中国やインドなど中間所得層が大幅に増加している国が内需を中心としてこの経済危機を乗り越える原動力となることを全世界が期待をしております。その中で我々日系企業も新たなビジネスチャンスを開き出すことを一層真剣に取り組んでいかねばなりません。21世紀において共に手を携え、逆風のこのときに、明日を予見し、新しい産業、新しい市場を作り上げていくことを提案したいと思います。

プラスチック成形産業再構築に向けて

佐藤功技術事務所 所長
佐藤 功氏

1. これからの戦略

わが国成形業はセットメーカーの意向で動くことに慣れてきたため、新しい動きをする能力が備わっていない。このため、最近要請の多い、ロットサイズが小さい仕事は取り込むことができない。たとえば風力発電機の風車や観光地でよく見かける人力車は、ほぼ全量輸入品である。

我々は2つの方策を取る必要がある。その第一はセットメーカーの意向を徹底的にくみ、アジア全域まで拡大した分業体制の中で自らの棲み場所を見出していくこと。第二の方策はこの枠組みから離れて新しい世界を拓いていくこと。その際、ますます多様化し、ロットサイズが小さくなる内需に応えることは重要な着眼点となる。

筆者は国内の小ロット需要に対応できる技術体系を構築することにより、アジア全体を覆っている分業体制とは違った世界を、構築することが重要であると考えている。射出成形の範疇で言えば初期投資、すなわち型コストを引き下げ、開発期間を短縮することが主眼目となる。さらに、射出成形を離れ、初期投資が要らない切削等の加工法の検討も対象になる。

2. プロセス工学の提唱

射出成形が提供してくれる「型の中で最終製品を作る（ネットシェーブ性と言う）」ことに慣れてしまい、あるいは量産を前提とする世界に浸かりすぎたためになにも考えなくなってしまった。このような作り方の検討をプロセス工学と称したい。つまり「製品に要求される最適の製法を設定すること」。ここでは生産ロットサイズで話を進めているが、性能や精度で



回転成形の人力車（全量輸入品）

も同じことがいえる。

最適の製造法を求めて工夫を重ねることこそメーカー本来の姿である。まとまった仕事は海外に行ってしまったと言う事態に遭遇した、いまこそモノ作り本来の姿勢を取り戻すべきではなかろうか。海外に流出した生産システムは量産に強くシフトしている。彼らが追いつけているのもこの範疇だ。多様なニーズに対応し、多様な製法を組み合わせて最適な製造法を生み出すことは成熟社会に住み、長年の経験を積んだ我々にしかできない。

これからの成形業の方向は次の2点にまとめることができる。

- ① 最適の製造を提案できる能力を有すること。
- ② 上記を実現するため、できるだけ幅広い生産手段、あるいはその開発能力を持つこと。

3. 「Kメッセ」2007ドイツプラスチック展の教訓

筆者がこんな思いを抱いたのは、「Kメッセ」の経験からだ。ここで展示される技術はとにかく幅が広い。射出成形中心の「IPF」とは異なる。ヨーロッパは日本製品が世界を席巻する前は高度組立て産業の宝庫だった。時計のスイス、カメラのドイツ、そして造船のオランダ、北欧などだ。日本の躍進は彼らを空洞化した。彼らは空洞化では大先輩だともいえる。そのような中で優れた成形技術が開発されているのはなぜだろうという素朴な疑問を抱き、いろいろ調べ、彼らの事情を知ることができた。彼らは多様にならざるを得ないのだ。ヨーロッパで世界に通用する量産型の産業は自動車以外にはない。OAもAVもない中で彼らはそれぞれの国で異なる多様なニーズに応えるため、さまざまな工夫をしている。これが成形技術の幅の広さにつながっている。モノ真似をしようというのではないが、学ぶことは多い。



FRP製の風車の羽（全量輸入品）

1. 第2回技術開発・改善事例会員発表会開催

技術委員会では技術開発・改善促進啓蒙事業として、会員企業での取り組み事例発表会と先進技術講演会を3月6日（金）呉羽ハイツにて60名あまりが参加して開催した。

齊藤副会長より開会挨拶があり、続いて会員企業3社から、技術開発テーマでの開発経緯や成果などの詳細な事例発表と参加者との熱心な質疑応答があった。

富山県工業技術センター谷野所長の講評の後、笠井会長から今後の取り組みへの期待の言葉があり、各発表者に奨励賞が手渡された。

当会では次年度以降も継続開催し、技術開発・改善発表の場とする予定です。

■第1部 事例発表内容

1. (株)リッチェル 谷口 暁氏
テーマ「射出成形機を使用した2色成形品の開発」
2. ビニフレーム工業株 村椿 義幸氏
テーマ「切断キリコ飛散防止」
3. 阪神化成工業株 伊藤 勝氏
テーマ「吊り具一体式輸液容器」

■第2部 先進技術講演会

講師 佐藤 功技術事務所 所長 佐藤 功氏
演題 「最近の技術動向と活かし方」

講演では、今後の成形業界は量産品志向の射出成形品から、内需小ロット生産技術への取り組みにより、型代低減、納期短縮、収益確保を目指す取り組みを勧めた。



奨励賞授与


2. 産学官共同研究「金属とプラスチックの直接接着」スタート

当会（三晶MEC・タカギセイコー・リッチェル3社）と富山県工業技術センター、富山県立大学連携による共同研究を7月よりスタートします。

この共同研究は、富山県新世紀産業機構の「平成21年度新商品・新事業創出公募事業」に採択されました。研究成果は会員企業に公開してゆく予定です。

地球環境創造
TOYOX 株式会社トヨックス

〒938-8585 富山県黒部市前沢4371
TEL 0765-52-3131 FAX 0765-52-4245
<http://www.toyox.co.jp>

 阪神化成工業株式会社

〒939-8183 富山県小中163番地
TEL (076) 429-1865代
FAX (076) 429-6042
URL <http://www.hansin.co.jp/>

1. 夏季経営セミナー開催

―笠井会長「これからのプラスチック業界と経営」講演と
「環境経営への紹介、提案」講演―

平成21年7月30日、呉羽ハイツで48名の参加者にて開催され、これからの業界における経営の指針と環境経営時代における省エネ活動事例紹介とメーカーによる具体的な提案事例が示されて、熱心に聞き入った。

第一部では笠井会長が「これからのプラスチック業界と経営」と講演し、第二部ではタカギセイコーの川上環境管理課長より、「自社の省エネ推進活動」について事例紹介した。

第三部では松井製作所の花岡常務より「マツイの提案factor4」と題して、成形工場における樹脂・エネルギー・水のムダを無くして資源生産性を4倍高めるための具体的手法について、紹介があった。



延澤副会長開会挨拶



笠井会長講演

2. 第13回次世代経営研究会事業

―「自社経営改善プログラム作成法」講座と「創業者経営革新講演」から学ぶ―

今般講座は平成21年5月22日(金) 9時～17時で富山県技術交流センターにて12名が参加して開催され、藤井忠良中小企業診断士らの指導を受けて自社改善プログラム作成について各自、学んだ。参加者の意欲、能力も高く、講師から高い評価を受けた。

《参加者レポート》

株式会社大樹 松下 義一氏

講座「自社の経営改善プログラム作成法を学ぶ」

日頃、自社の仕事内容は機械オペレーターが主で今回の経営改善プログラム作成法という研修では内容についていけないのではと思っていました。しかし1グループに講師が1人付いていて、講師のアドバイスで会社全体の改善プログラムが作成しにくいなら今の自分の仕事に置き換えて作業をしてみるとあり、製造部を対象としてSWAT分析から強み・機会の拡充策、弱み・脅威の改善分類、短期・長期改善プログラム作成まで一連の流れがわかりました。これを半年・1年後に同じ改善プログラムを作成してみるとまた違う改善策が見えてくると思うので作成しようと思いました。

講演「我が社の経営革新」

講師 ジャパンパック株式会社社長 長田 宏泰氏

毎回、講演ではいろいろな職種の経営者の貴重な話を聞かせていただいております。今回はジャパンパック(株)長田社長の講演では自社オリジナル製品の取り組みに対する姿勢の強さが伝わってきました。他社が出来ない物をただ製品化するのではなくコストから作業員に対する作業性など考えて製品にする、そうすることによって付加価値が付いて需要があると思いました。また、開発資金調達に公的助成を活用することは社会的信頼性や顧客アピールに有効である。



長田社長講演



講座:プログラム作成



研修講習事業報告

レベルアップ研修会

と き：平成21年4月9日～24日

と ころ：ポリテクセンター富山

初心者向け射出成形・金型・電気制御を参加企業8社20名が研修しました



オリエンテーション

健康管理講演会

と き：平成21年4月28日

と ころ：富山第一ホテル

演 題：「これからの健康づくり」

講 師：富山県健康増進センター

所長 大江 浩氏



講 演

定期総会記念講演会

と き：平成21年5月26日

と ころ：富山第一ホテル

演 題：「環境時代とプラスチック技術の進化」

講 師：金沢工業大学ものづくり研究所

客員教授 松井 醇一氏

経営改善講座、創業経営者講演

と き：平成21年5月22日

と ころ：富山技術交流センター2F

講 座：「自社の経営改善プログラム作成法を学ぶ」

中小企業診断士

講 演：「我が社の経営革新」

ジャパンパック(株) 長田社長

射出成形実技講習会

と き：平成21年5月11日～6月25日

と ころ：ポリテクセンター富山

112名参加にて30日間にわたって実施



実 習

産学官研究事例発表

と き：平成21年6月26日

と ころ：富山大学工学部

参加者：富山大学

富山県工業技術センター

富山県プラスチック工業会

射出成形学科講習

と き：平成21年7月25日

と ころ：ポリテクセンター富山

講 師：林 盛彦氏

70名参加



射出成形学科講習

経営セミナー

と き：平成21年7月30日

と ころ：呉羽ハイツ

①経営講演会「これからのプラスチック業界と経営」
講師：当会会長 笠井 千秋

②事例紹介「我が社の省エネ推進活動・環境保全への取り組み」

発表：(株)タカギセイコー

品質保証部環境管理課長 川上 三郎氏

③省エネ・価値創造講演「マツイの提案factor4」
講師：(株)松井製作所

常務執行役員GCD本部本部長

花岡 一成氏

未来への限らない挑戦

プラスチックの総合メーカー



ミユキ化成株式会社

代表取締役社長 延澤 泰明

〒939-0351 富山県射水市戸破針原53-14
TEL (0766) 56-9500 FAX (0766) 56-9495
URL: http://www.miyuki-kasei.co.jp/



暮らしに笑顔を咲かせます。

株式会社リッチェル

富山市水橋桜木136 〒939-0592
TEL(076)478-2250 http://www.richell.co.jp/

プラスチック家庭用品・園芸用品・ペット用品・ベビー用品・工業用品・園芸用品・介護用品・エクステリア用品・工業用品・マイクロチップ・ソーラー製品の製造販売

(広告名、企業名の50音順で掲載しています)

プラスチック業界優良従業員表彰式15名 受彰

富山県プラスチック工業会優良従業員表彰式が4月28日(火)、富山第一ホテルで開催され、会員企業社員15名が受彰した。誠にありがとうございました。

表彰式では笠井会長より永年に渡る貢献へのねぎらいと共に今後一層の活躍と後進育成を願う挨拶のあと、来賓を代表して(財)



笠井会長より表彰状授与

富山県新世紀産業機構 池田専務理事よりお祝いの言葉として、プラスチック業界が県産業界に果たす役割と発展を期待する祝辞があった。

表彰式終了後、健康講演会が開催され、笠井会長から開会挨拶の後、富山県健康増進センターの大江所長による「これからの健康づくり」の演題で1時間にわたり講演があり熱心に聴講した。

優良従業員受彰者

氏名	企業名
石田 美智代	株大樹
今井 憲之	株リッチェル
門島 勇	株タカギセイコー
北野 昭	三光合成株技術本部
境 隆男	小林製薬ブラックス株
椎名 春子	ファインプラス株
篠田 光生	三協化成株
嶋 秀子	丸和ケミカル株
竹嶋 光雄	株碓井製作所
中嶋 浩一	三光合成株富山工場
香場 信久	株トヨックス
福沢 英輔	*
藤岡 稔	株リッチェル
安丸 詳	三光合成株富山工場
余川 忠之	株タカギセイコー

慶事 高陵プラスチック工業(株) 渋谷 巽さん 黄綬褒章授章

渋谷さんは、5月19日、ホテルニューオータニ東京で厚生労働大臣より黄綬褒章が授与され、同日、皇居で天皇陛下に拝謁、ねぎらいの言葉がありました。

高陵プラスチック工業株に入社以来、プラスチック成形業務に携わり、その間、役員、管理職として会社の発展に寄与された。加えて、昭和61年より長年に渡り射出成形技能検定員として技能検定業務に従事し、卓越した技能、見識でプラスチック成形技能の向上と業界技能者育成に貢献があり、今般の授章となった。

誠にありがとうございました。今後共、一層のご活躍を祈念します。

懇親ボウリング大会開催110人が参加

年1回、恒例の会員企業懇親ボウリング大会が6月28日(日)、射水市のクアトロブームボウリング場で開催され、16社22チームが参加した。日頃の疲れを感じさせない元気なプレーが繰り広げられ、団体、個人で2ゲームでの成績を競った。団体では株タカギセイコー氷見事業所がチーム5人の総得点1,752点で優勝、個人の部ではシロウマサイエンス株の笠木厚伺さんが438点の好スコアで初優勝した。

団体の部 (1チーム5名 計10ゲーム)

	チーム名	企業名
優勝	タカギ氷見	株タカギセイコー
準優勝	マスオカ	株マスオカ
3位	シロウマニューGirl2009	シロウマサイエンス株
4位	リッチェルA	株リッチェル
5位	チームHANSIN	阪神化成工業株



団体の部優勝 タカギ氷見チーム

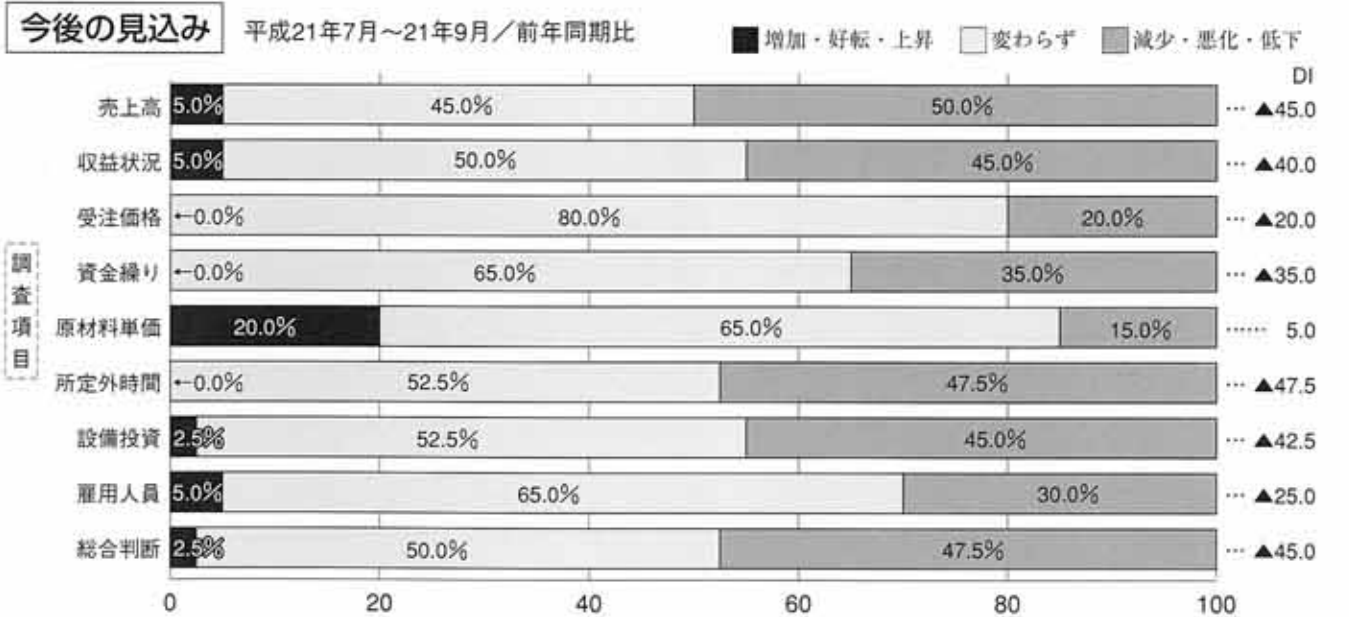
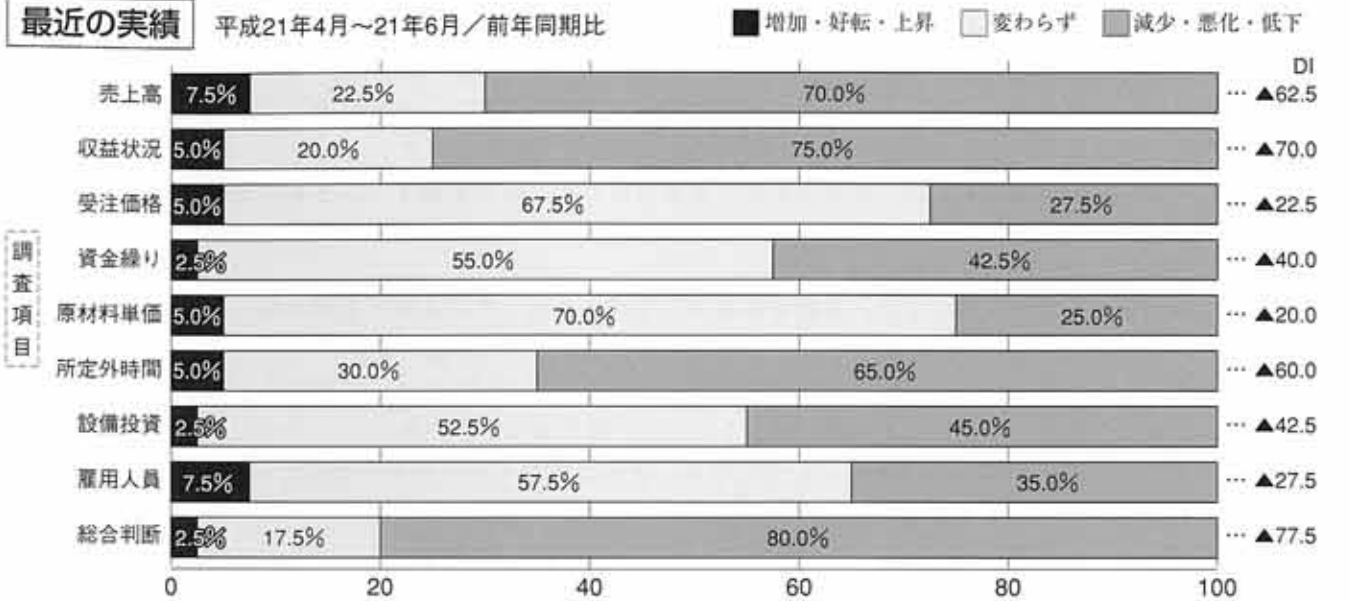
個人の部 (2ゲーム)

	チーム名	企業名
優勝	笠木 厚伺	シロウマサイエンス株
準優勝	加野 幸一	株タカギセイコー
3位	海老 彰	株タカギセイコー
4位	碓井 智博	株リッチェル
5位	長谷 寿昭	株マスオカ

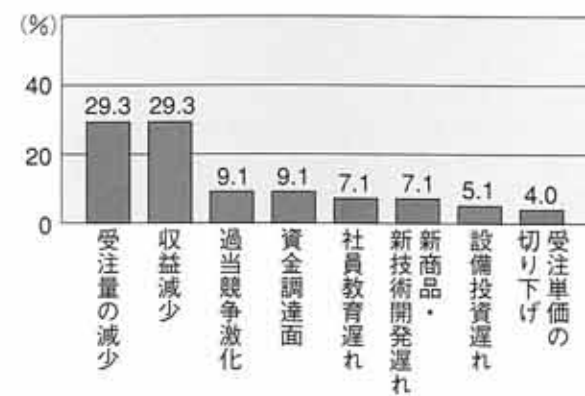


個人の部優勝 シロウマサイエンス株 笠木 厚伺さん

7~9月期予測、売上高DI前期(4~6月)比17.5ポイント改善 調査:会員企業43社回答



現在直面している経営上の問題点について



国が実施する雇用調整助成金制度について

